

各関係機関・団体の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成21年度発生予察技術情報第15号（果樹カメムシ類）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

平成21年度技術情報第15号

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）の誘殺数が一部の予察灯で9月第4半旬から急激に増加しており、今後、果樹園への飛来と加害が急増する恐れもあるので注意が必要である。

1 対象作物 カンキツ、ナシ、カキ

2 情報の根拠

- (1) 垂水市では、予察灯へのツヤアオカメムシの誘殺数が9月第4半旬から増加し、第4半旬で686頭（前年93頭、平年410頭）、第5半旬で2,299頭（前年250頭、平年221頭）であった。同市では、チャバネアオカメムシの誘殺数も9月第5半旬に増加している（表1、図1）。
- (2) 一部のカンキツ、ナシ園で飛来が確認され、果実への被害が認められたほ場もあった。
- (3) ヒノキでの寄生虫数は、4.9頭（うち、成虫2.8頭）で9月上旬の10.1頭（うち、成虫3.6頭）と比べてかなり減少している（表2）。
- (4) ヒノキ球果の口針鞘数（吸汁痕数）は、9月上旬の21.7本／果（前年21.6）から9月中旬では24.9本／果（前年24.8）と増加しており、半数の地点で離脱の目安である25本／果を越えている（表3）。

3 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類の飛来は地域間差、ほ場間差があるので、園内外をよく見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。誘殺数が急激に増加している垂水市とその周辺地域では特に注意する。
- (2) すでに収穫期を迎えている極早生温州やナシ園では特に注意する。
- (3) 山林（ヒノキ、スギ）に近い果樹園ほど飛来数が多くなる傾向があり、特に、防風樹としてヒノキを植栽している園地では注意する。
- (4) 飛来を認めた場合、一回目の防除は残効の長いネオニコチノイド系薬剤または合成ピレスロイド系薬剤を選択する。また、散布後の園内の飛来状況を見極め、二回目以降の防除を実施する。なお、合成ピレスロイド系薬剤は、ハダニ類の発生を助長するので散布後の発生に注意する。
- (5) 薬剤のかかりの悪い場所へ集中的に飛来する可能性が高いため、薬液が樹全体にかかるように丁寧に散布する。
- (6) 防除にあたっては、防除薬剤の使用回数や使用時期を厳守し、収穫期の近い樹種では、収穫開始予定日を想定して農薬を選定する。

<参考資料>

表1 予察灯におけるカメムシ類の誘殺状況（8～9月）

ツヤアオカメムシ

半旬	垂水市		南さつま市 ¹⁾		いちき串木野市 ²⁾		薩摩川内市 ³⁾		出水市1		出水市2 ⁴⁾ 鹿屋市 ⁵⁾	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	本年
8月1	7	26	6	44	3	56	0	38	0	28	—	103
2	10	13	2	59	4	178	3	47	1	43	—	149
3	17	12	5	62	2	115	8	51	7	122	—	37
4	68	16	5	36	0	96	7	34	18	103	—	24
5	48	21	15	31	0	50	20	30	7	31	11	111
6	30	65	14	37	1	62	25	82	9	73	130	64
9月1	20	98	4	48	2	85	9	86	4	122	181	77
2	54	201	9	55	2	111	9	113	1	109	73	52
3	51	547	5	62	1	73	11	86	1	258	75	61
4	686	410	5	44	0	46	5	57	2	159	65	49
5	2299	221	8	39	2	76	68	74	6	151	75	120

注：1) 南さつま市（旧加世田市），2) いちき串木野市湊町（旧市来町），3) 薩摩川内市東郷町，4) 参考：出水市美原町（追加設置予察灯）
5) 参考：鹿屋市細山田

チャバネアオカメムシ

半旬	垂水市		南さつま市 ¹⁾		いちき串木野市 ²⁾		薩摩川内市 ³⁾		出水市1		出水市2 ⁴⁾ 鹿屋市 ⁵⁾	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	本年
8月1	37	92	0	29	2	71	36	75	7	18	—	41
2	68	25	0	33	2	89	165	80	14	24	—	226
3	23	22	5	36	1	218	304	116	51	85	—	408
4	86	30	8	58	1	280	320	188	34	132	—	177
5	98	51	10	49	12	161	416	188	20	85	81	37
6	138	79	4	45	8	221	253	202	13	136	348	132
9月1	54	38	4	40	7	140	135	158	9	166	289	32
2	92	56	9	25	4	522	83	229	3	162	208	79
3	50	67	3	66	3	370	17	132	0	230	56	42
4	65	60	1	27	0	135	26	201	1	130	44	28
5	271	33	0	23	4	77	92	211	0	86	64	50

注：1) 南さつま市（旧加世田市），2) いちき串木野市湊町（旧市来町），3) 薩摩川内市東郷町，4) 参考：出水市美原町（追加設置予察灯）
5) 参考：鹿屋市細山田

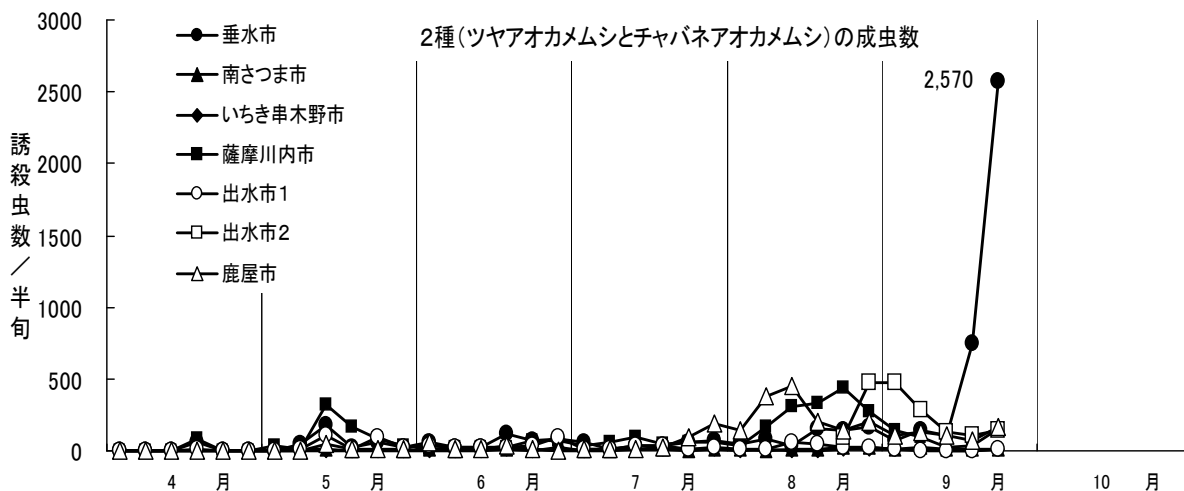


図1 カメムシ類（2種計）の誘殺状況（平成21年）

表2 ヒノキでのカメムシ類（2種計）寄生状況（7～9月調査）¹⁾

調査場所	調査時期					
	7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月下旬	9月上旬	9月中旬
いちき串木野市1	9(6)	25(12)	22(8)	6(3)	3(0)	3(2)
いちき串木野市2	20(7)	19(11)	13(9)	4(1)	9(0)	3(0)
薩摩川内市東郷町	2(2)	10(2)	8(6)	11(9)	4(2)	2(2)
さつま町	13(6)	23(8)	23(5)	24(8)	14(1)	2(1)
阿久根市	9(8)	19(9)	26(17)	16(6)	5(2)	4(4)
出水市高尾野町	2(1)	10(4)	7(5)	5(3)	6(4)	1(0)
出水市1	10(6)	10(4)	10(6)	4(3)	1(1)	1(1)
出水市2	4(4)	13(9)	13(12)	10(7)	15(9)	5(1)
霧島市溝辺町1	1(1)	11(4)	11(1)	35(27)	32(13)	14(8)
霧島市溝辺町2	0(0)	17(8)	26(12)	24(18)	28(11)	14(8)
垂水市	5(4)	22(12)	19(9)	9(4)	4(0)	10(6)
南さつま市加世田	0(0)	8(3)	3(2)	2(0)	0(0)	0(0)
平均	6.2(2.5)	15.6(7.2)	15.1(7.7)	12.5(7.4)	10.1(3.6)	4.9(2.8)

- 注) 1. 調査日：平成21年7月3～6日（上旬），7月22～23日（下旬），8月3日～4日（上旬），8月19～21日（下旬）
9月1～7日（上旬），9月17～18日（中旬）
2. 調査方法：1地点で5ヶ所を選定し，防虫網によりそれぞれ10回振るい落とす。
3. 数字は，成虫・幼虫の合計値で，（ ）内は成虫数である。

表3 ヒノキ球果1果当たりの口針鞘数の推移（7～9月調査）¹⁾

調査場所	調査時期					
	7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月下旬	9月上旬	9月中旬
いちき串木野市1	0.1	1.2	12.6	13.1	19.8	20.3
いちき串木野市2	0.4	4.9	20.3	22.3	23.7	23.2
薩摩川内市東郷町	0.2	0.8	8.4	11.6	17.9	22.1
さつま町	0.5	3.1	13.3	16.9	23.6	28.4
阿久根市	0.1	4.6	11.9	14.0	23.7	21.6
出水市高尾野町	0.3	1.1	7.3	11.7	22.7	27.5
出水市1	0.2	10.4	17.9	25.5	29.0	31.2
出水市2	0.0	0.4	9.6	24.6	24.1	28.2
霧島市溝辺町1	0.1	0.4	3.5	11.9	18.4	28.6
霧島市溝辺町2	0.0	1.5	4.7	16.2	22.5	28.0
垂水市	0.2	3.7	16.9	18.4	20.9	22.1
南さつま市加世田	0.0	0.3	1.5	19.8	14.5	17.9
平均	0.2	2.7	10.6	17.1	21.7	24.9

- 注) 1. 球果採集日：平成21年7月3～6日（上旬），7月22～23日（下旬），8月3～4日（上旬），8月19～21日（下旬）
9月1～7日（上旬），9月17～18日（中旬）
2. 口針鞘数（吸汁痕数）が約25本/果がヒノキ樹からの離脱の目安